



にゅーすれたーふじやま・長泉 2018年を振り返って



2018. 12

パナソニックエイジフリーショーフ

政府は新しい元号を来年4月1日以降に公表する方針であることを明らかにしました。国民生活に支障が生じないようにとの配慮からです。

今年、我が家では10月17日義父の死、それから1週間後には孫の誕生と大きな出来事が続けてありました。12月に入り、子ども、孫、親戚25名が集まり、義父の四十九日法要と納骨を済ませました。一人っ子だったおじいさん(義父)は自分の周りで、孫たちがどんなに騒いで走り回っても笑顔で見つめ、絶対怒ることはありませんでした。通夜~葬儀、四十九日と大勢でにぎやかに送ることができて、本当によかったと思っています。ご会葬いただいた多くの方々に深くお礼申し上げます。10月25日、二人目の孫(女兒)が誕生しました。「おじいさんの生まれ変わり」だとみんな大喜び、母子共に健康です。生まれてくるまで、男の子だと信じて疑わなかったため、産着などはみんなブルーとか黄色、紺で揃えました。分娩室の前で待っていた私と娘の夫は一瞬、啞然として言葉を失いました。でも、逆に女の子で良かったと手を取り合って喜びました。「一姫二太郎」とよく昔の人は言います。私もそうですが、最初は女の子が育て易くて、慣れないママにとっては良いようです。パパも育児に協力してくれるので、夫と私は目を細めてそばで見守っています。孫が生まれて、気がついたことがあります。私の娘は近くに私たちがいるため、わからないことがあれば、すぐに聞いたり、預けることもできますが、若い夫婦だけで生活している方も多くいらっしゃいます。しかし、今はそんな方たちの駆け込み寺があるんですね、ある助産師さんに伺ったところ、富士市でも助成しているそうです。本人負担は10000円だそうです。その他に、生協はベビーのいる家庭への配送費は3歳になるまで無料、水の宅配でも、ある業者は何本かに1本サービスがあるとか、意外と子育て中のママに優しいサービスがあるようです。もっともっとこんな企業が増えると富士市も子供が多くなるような気がします。

渡邊啓視

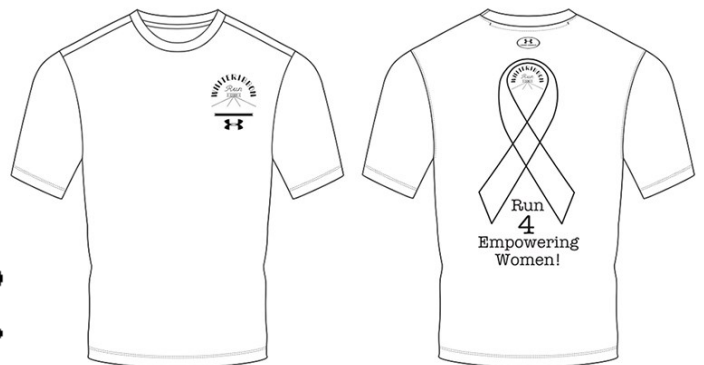
富士市で産みましょう！みんなで育てましょう！私たちは応援します！をスローガンに「ホワイトリボンラン 2019 富士」を2019年3月2日(土)10時~富士市中央公園を拠点に開催します。

世界では毎日約830人の女性が妊娠・出産・中絶が原因で命を落としています。この現状を変えるために国際女性デーに向けて世界各地で同じ大会公式Tシャツを着て走ります。

ホワイトリボンは、世界中の妊産婦の命と健康を守るシンボルです。世界150か国以上から団体や個人がホワイトリボンの名のもとに集い、世界中の女性が望んだ時に安全に妊娠・出産を迎え、命が守られる世界を目指しています。エントリーするとTシャツ(3000円)が送られてきます。半額が寄付になります。



走ろう。
自分のために。
誰かのために。



UNDER ARMOUR®